



FAS 住まい新聞

発行責任者
(株)福地建装
北斗市中野通 324
0138-73-5558

『 ~ 本当に暖かい家をつくるには ~ 』

高气密、高断熱の意味を知ろう

断熱材だけで暖かい家にならない

高气密、高断熱住宅と言う「高」を付ける基準が明確になっておりません。高气密、高断熱住宅で暖かい家を作ろうと思った建主さんですが、必ずしも満足した家にならなかった事例や相談がいくつも持ち込まれます。施工者側の勝手な基準で高气密、高断熱と謳っているものも少なくありません。

空気を静止させ易い、密度の高いグラスウールを使用したのが高断熱と謳ったものもあります。密度の低いグラスウールより確かにグラスウール自体の断熱性能は高いのですが、充填の仕方によって何の効果も上がらない場合もあります。断熱材は外部と室内の気温差を遮る材料と言う事になりますが、どのような断熱材をどのように使用したかによって効果が全く異なります。

暖かい家は高气密の方が効果的

家を密閉するのは、開放の文化で推移してきた我国の家づくりにはいささか抵抗があります。気密をしないで暖かい家になりそうなイメージをつくるために、低気密、高断熱などと言う、全く無知で間違ったコピーも出てくる始末です。どんなに断熱材を厚くしても隙間があれば、暖房して暖かくなった空気は膨張して放出され、冷たい空気と入れ替わります。床付近に停滞した冷たい空気と住む人が同じ場所に居る事から、更に暖房熱量を大きくし、悪循環となります。

ビニールハウスは断熱性の全く無い0.5ミリの薄いフィルムで内部の温度を管理できますが、これはまさに気密性能だけで暖かさを創り出しています。暖かい家づくりにこそ、気密性能を重要視させなければなりません。

適切な換気量が求められる

気密をはかる目的は乾燥した冷たい空気や、湿気の含んだ暑い空気を入れないようにするのが目的ですが、気密性能を高くするほど当然ながら室内の空気が汚れます。しかし、だからと言って換気量を多くする事は、せっかく

作った気密層に穴を開ける事に他なりません。気密性能と換気経路や換気量は大きく関わってきますが、適切な換気量が求められ、オール電化仕様もこのために不可欠な要素になる場合もあります。

開口部などの多くの性能と整合させる

サッシの性能とは

高气密、高断熱用のサッシは、これからの家づくりに必須となる事でしょう。出来るだけ気密性能を低下させないためにも、引き違い式サッシより、押し出し式のサッシを多用した方が賢明です。ペアガラスは標準になりつつあります。ペアガラスの場合、LOW-E機能と言う金属粒子をコーティングして断熱性能を増したり、夏場の日射熱を遮熱するガラスもあります。また、ペアガラスには二枚のガラスの間に空気よりもっと熱の伝え難いアルゴンガスやクリプトンガスを封入して断熱性能をあげたものもあります。

ファースの家は平成5年の全国展開の時期から、ここで紹介した断熱材の在り方、気密層の形成の仕方、換気量とオール電化仕様、高性能サッシの組み合わせを行って参りました。昨今は高温になる太陽熱の遮熱性能も整合させた断熱層をも組み込む計画です。住んでから具現化する家の性能はまさに多くの機能が整合して成り立っています。

幸の知恵袋

曲がったほうきの穂先を直すには

ほうきって何回もつかっていると、そのうち掃きぐせがついてしまって曲がっちゃうよね。曲がったほうきだと掃きにくいから、ついつい新しいものを買ってしまいがちだね。でも、簡単に元通りにする方法があるんだよ。

やりかたは簡単！まず桶か、バケツに水を張って、ほうきを10分ほど付けておくんだ。そしたら毛先がまっすぐになってくるから、後は取り出して日陰干しをするだけなんだよ。そうすれば元通りまっすぐになるんだ。こんな簡単なことで直るんだから、今までみたいに直ぐに買いなおさなくても良くなるね。

